

平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年10月24日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス
 コード番号 6676 URL <http://melco-hd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 名

(氏名) 牧 誠
 (氏名) 松尾 民男 TEL 052-251-6891
 配当支払開始予定日 平成23年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,344	2.4	4,002	15.8	4,248	11.9	2,566	12.0
23年3月期第2四半期	58,933	9.2	4,756	203.8	4,822	191.9	2,915	185.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,532百万円 (12.9%) 23年3月期第2四半期 2,907百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	115.53	
23年3月期第2四半期	131.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	67,395	40,250	58.7	1,781.94
23年3月期	71,601	38,606	53.0	1,707.75

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 39,584百万円 23年3月期 37,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		20.00		40.00	60.00
24年3月期		20.00			
24年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	8.3	8,400	21.8	8,600	21.5	5,000	20.4	225.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,237,873 株	23年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	23,598 株	23年3月期	23,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,214,400 株	23年3月期2Q	22,214,904 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい経済環境下、サプライチェーンの立て直しを背景に回復基調で推移しましたが、急激な円高の進行、電力不足、更には欧州の金融市場の動揺などにより景気の先行きは不透明な状況となりました。

当社グループに關係するデジタル家電業界は、2011年7月の地デジ化移行（岩手、宮城、福島を除く）によるテレビの駆け込み需要やスマートフォンの増加により、その周辺機器市場も拡大しました。一方で、パソコン周辺機器市場は、消費マインドが低迷したことに加え、製品価格の低下により、厳しい状況が続きました。

当社グループは、このような市場環境の中で、引き続き国内販売市場でのシェア確保に努力するとともに、在庫管理の徹底による評価減の圧縮等ロスコスト削減に努力しつつ、海外事業の強化にも注力しました。また、急速に普及が進んだスマートフォンとの連携を強化した新製品を発売、更には、地デジ化移行に伴う需要拡大に対応し、家電売場における活用提案・売り場作りを積極的に行う等、成長事業の拡大に努めました。

その結果、売上高は603億44百万円と前年同期を2.4%上回る結果となりました。営業利益においては、単価下落の影響が厳しく、前年同期を下回る結果となりました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は603億44百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益40億2百万円（同15.8%減）、経常利益42億48百万円（同11.9%減）、四半期純利益25億66百万円（同12.0%減）となりました。

主要な製品別の状況は以下のとおりです。

メモリ製品では、第1四半期に引き続き、パソコンのメモリ初期搭載容量の大容量化による、メモリモジュール追加購入需要が低迷したことから、販売台数は前年同期比で24.4%減少しました。またDRAM価格の下落もあり、売上高は25億84百万円と前年同期比47.1%減となりました。

フラッシュメモリ製品では、SD等メモ리카ードの拡販努力と共に、より高速転送が可能な次世代規格USB3.0対応モデルのラインアップ拡充による需要喚起に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比で17.2%増加し、売上高は38億38百万円と前年同期を2.0%上回りました。

ストレージ製品では、外付ハードディスクに録画のできる地上デジタルテレビの販売台数伸張により、主力の外付ハードディスクの販売台数が増加しました。これにより、販売台数は前年同期比で22.3%増加しましたが、単価下落により、売上高は前年同期比で0.4%微減の200億34百万円となりました。

NAS（ネットワークハードディスク）製品では、売り場でのプライベートクラウドストレージ用途の活用提案と共に、スマートフォンからNASを簡単に設定できるアプリケーションの提供、法人のセキュリティニーズに対応した、ウィルスチェック機能付きモデルのラインアップ拡充など、NASの需要喚起に努めました。これらにより、販売台数は前年同期比で15.7%増加し、売上高は前年同期比2.7%増の63億97百万円となりました。

ネットワーク製品では、第1四半期に引き続き、スマートフォンや地上デジタルテレビなどのデジタル家電機器での無線LAN需要が増大するなか、スマートフォンのWi-Fi通信に便利なWi-Fiアダプターを発売する等、スマートフォン市場への対応に注力しました。これらにより、販売台数は前年同期比27.7%増加しましたが、単価下落により、売上高は前年同期比0.4%微減の132億59百万円となりました。

デジタルホーム製品では、地デジ化移行に伴う、アナログTV用地上デジタルチューナーの販売台数が増加しました。また、ビデオデッキの買い替え需要に最適な「1台で視聴・録画が可能な」簡単操作の地デジレコーダーの販売に注力しました。これらにより、販売台数は前年同期比174.9%増加し、売上高は前年同期比169.5%増の51億98百万円となりました。

サプライ・アクセサリ製品では、スマートフォン、タブレット用に気泡が入らないエアレスシールを採用した製品を発売し、スマートフォン関連商品のラインアップを強化しました。また、パソコンや周辺機器の消費電力をカットできる節電シリーズを発売し、市場に新たな提案を行いました。これらにより、販売台数は前年同期比20.7%増加し、売上高は前年同期比10.4%増の53億99百万円となりました。

[四半期製品分類別連結売上高]

	平成23年3月期 (第2四半期連結累計期間)		平成24年3月期 (第2四半期連結累計期間)		前年同期比増減 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
メモリ	4,886	8.3	2,584	4.3	△47.1
フラッシュメモリ	3,763	6.4	3,838	6.4	2.0
ストレージ	20,105	34.1	20,034	33.2	△0.4
NAS	6,227	10.6	6,397	10.6	2.7
ネットワーク	13,306	22.6	13,259	22.0	△0.4
デジタルホーム	1,929	3.3	5,198	8.6	169.5
サブライ・アクセサリ	4,890	8.3	5,399	9.0	10.4
DOS/Vパーツ	2,265	3.8	2,232	3.7	△1.5
サービス	1,099	1.9	1,037	1.7	△5.6
その他	459	0.7	362	0.5	△21.1
合計	58,933	100.0	60,344	100.0	2.4

海外事業については、依然として厳しい事業環境であるものの、販売の拡大に努め、売上高は前年同期比 9.3% 伸張しました。また、南米及びロシアなどの新興国開拓に注力するなど、当社グループの最重要課題である海外事業体制の強化・拡充に努力しました。

[海外売上高]

	アジア オセアニア	北米・中南米	欧州	計
当第2四半期連結累計期間(百万円)	3,526	1,448	3,516	8,491
前第2四半期連結累計期間(百万円)	3,081	1,561	3,123	7,767
前年同期比増減(%)	14.4	△7.3	12.6	9.3

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は673億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億5百万円減少しました。流動資産は624億3百万円となり32億12百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少67億78百万円、受取手形及び売掛金の減少43億42百万円、有価証券の増加82億円によるものです。固定資産は49億91百万円となり9億92百万円減少しました。

負債合計は271億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億49百万円減少しました。流動負債は240億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億4百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少29億60百万円、未払法人税等の減少11億82百万円によるものです。固定負債は30億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少しました。

純資産合計は402億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億44百万円増加しました。これは主に、四半期純利益の獲得25億66百万円と配当金の支払8億88百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の四半期末残高は105億16百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は22億15百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益42億50百万円、減価償却費6億11百万円、売上債権の減少による資金増加44億35百万円、仕入債務の減少による資金減少30億43百万円、法人税等の支払額35億47百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は22億43百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出49億円、定期預金の払戻による収入107億80百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出172億1百万円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入92億45百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は8億89百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月25日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想を修正しました。詳しくは、平成23年10月11日に公表した、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,296	15,517
受取手形及び売掛金	22,080	17,737
有価証券	9,100	17,300
商品及び製品	5,712	5,150
原材料及び貯蔵品	4,582	5,071
その他	1,878	1,651
貸倒引当金	△35	△25
流動資産合計	65,616	62,403
固定資産		
有形固定資産	956	940
無形固定資産		
のれん	43	21
その他	2,179	1,834
無形固定資産合計	2,223	1,856
投資その他の資産		
その他	3,036	2,426
貸倒引当金	△231	△231
投資その他の資産合計	2,805	2,195
固定資産合計	5,984	4,991
資産合計	71,601	67,395
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,148	17,188
未払法人税等	2,804	1,621
未払金	2,868	2,915
役員賞与引当金	41	12
製品保証引当金	155	142
訴訟損失引当金	44	—
事業再構築引当金	300	6
その他	3,223	2,194
流動負債合計	29,586	24,082
固定負債		
退職給付引当金	925	982
役員退職慰労引当金	555	511
リサイクル費用引当金	158	158
その他	1,768	1,411
固定負債合計	3,407	3,062
負債合計	32,994	27,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	774	774
利益剰余金	36,435	38,112
自己株式	△59	△60
株主資本合計	38,150	39,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	69
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	△314	△312
その他の包括利益累計額合計	△213	△243
少数株主持分	670	666
純資産合計	38,606	40,250
負債純資産合計	71,601	67,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	58,933	60,344
売上原価	46,073	47,590
売上総利益	12,860	12,753
販売費及び一般管理費	8,104	8,751
営業利益	4,756	4,002
営業外収益		
受取利息	23	30
受取配当金	11	116
有価証券売却益	—	32
為替差益	180	77
貸倒引当金戻入額	—	10
訴訟損失引当金戻入額	—	40
その他	26	26
営業外収益合計	241	333
営業外費用		
支払利息	0	0
デリバティブ評価損	165	62
持分法による投資損失	—	0
その他	9	23
営業外費用合計	175	87
経常利益	4,822	4,248
特別利益		
固定資産売却益	—	2
貸倒引当金戻入額	3	—
訴訟損失引当金戻入額	93	—
事業再構築引当金戻入額	—	7
その他	7	—
特別利益合計	104	9
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	7
投資有価証券評価損	5	—
過年度使用料	88	—
その他	30	—
特別損失合計	134	7
税金等調整前四半期純利益	4,792	4,250
法人税、住民税及び事業税	1,772	1,489
法人税等調整額	50	198
法人税等合計	1,823	1,688
少数株主損益調整前四半期純利益	2,969	2,562
少数株主利益又は少数株主損失(△)	54	△4
四半期純利益	2,915	2,566

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,969	2,562
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△25
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	5	1
その他の包括利益合計	△61	△29
四半期包括利益	2,907	2,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,853	2,536
少数株主に係る四半期包括利益	54	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,792	4,250
減価償却費	582	611
のれん償却額	21	21
事業再構築引当金の増減額 (△は減少)	—	△293
受取利息及び受取配当金	△34	△147
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	3,667	4,435
たな卸資産の増減額 (△は増加)	45	71
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,153	△3,043
未払金の増減額 (△は減少)	271	△20
その他	388	△389
小計	6,582	5,496
利息及び配当金の受取額	34	182
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,105	△3,547
法人税等の還付額	54	83
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,566	2,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,290	△4,900
定期預金の払戻による収入	11,390	10,780
有形固定資産の取得による支出	△271	△236
有形固定資産の売却による収入	0	101
無形固定資産の取得による支出	△183	△83
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△0	△17,201
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	9,245
その他	△190	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,545	△2,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△444	△888
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△889
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	565	△898
現金及び現金同等物の期首残高	11,977	11,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,543	10,516

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	53,806	442	3,123	1,561	58,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,627	4,346	39	7	8,020
計	57,434	4,788	3,163	1,569	66,954
セグメント利益又は損失(△)	4,837	65	△135	32	4,799

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,799
セグメント間取引消去	△43
四半期連結損益計算書の営業利益	4,756

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	欧州	米国	
売上高					
外部顧客への売上高	54,705	693	3,515	1,429	60,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,804	2,479	—	10	7,293
計	59,509	3,172	3,515	1,440	67,638
セグメント利益又は損失(△)	4,138	3	△37	△156	3,948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,948
セグメント間取引消去	54
四半期連結損益計算書の営業利益	4,002

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。